

河内神社報

発行所: 〒731-5151
広島市佐伯区河内
五日市町上河内
http://kochijinja.org
河内神社
社務所

上半期の災い・禍事・罪・過ちのお祓い
夏越の祓いにお参り下さい

宮司 山田 茂雄

7月3日(日)午後2時より、「夏祭り」および夏越神事「大祓式」・「茅の輪くぐり」を皆さまの氏神様・河内神社にて執り行います。今年3月の東日本大震災、原発事故など大変な災難が日本に降りかかりました。今なお復興や復旧のめどさえついておらず、政治に至っては、一向に進まぬ復興計画など数多の課題が残されています。

古来、日本においては多くの国難にあたり、大祓を行い、人心をまとめ克服してきました。復興のために、直接被害を被っていない地域が今以上に元気に景気を良くして力を蓄え、支えていく必要があります。多



くの皆さまの参列のもと、全員で大祓の祝詞を唱和し、夏越の祓いを行い、上半期の災い、禍事、罪、過ちを祓い清め、下半期に向けて、氏神様の新たな力をいただいて、出立できるように祈願しましょう。

大祓式

ご参列される方は、人形に半年間の罪や穢れ



を移して、ご神前に納め、参列者全員で大祓の祝詞を唱和します。その後、切麻(麻と和紙を小さく切ったもの)で自分の体を祓い清めます。

た罪や穢れを火の力によって祓い除けます。

なお人形は、地区の氏子総代さんに各家庭へ配って頂きます。人形に氏名、年齢を記入し、

自分の体をさすり、息を吹きかけ、身に付いたの半年間の罪や穢れを移し、当日ご参列で

きない方は、社頭に人形入れを準備してありますので、都合の良い日にお持ち



下さい。

総代さん不在の地区(藤の木、河内南、遥花等)の方は、この河内神社報の4ページにある人形を切り抜き、当日お参り下さい。また、社頭にも人形を置いてありますのでご利用下さい。

茅の輪くぐり

災いを防ぎましょう

「備後風土記」

にある、武塔の神(スサノオノ命)

が「茅の輪を腰に

付けた人は子孫に

至るまで疫病に罹

らない」と言われ

たという

故事に基づき、行われるものです。

茅萱で作った輪を「水無月の夏越しの祓えする人は千歳の命延ぶというなり」と唱えながら、神職を先頭に8の字を描くように3回くぐり、無病息災を祈ります。

茅の輪は、6月27日から7月19日まで河内神社の境内に設置してあります。お参りの作法は茅の輪に表示してあります。



夏祭り 初穂を供え、安寧を祈ります

夏越神事の後、氏子、崇敬者の皆さまと拝殿に上がり、夏の暑さに負けず健康で家庭平穩に過ごせるように、風水害や害虫などの災害が無きように、河内神社の神様に、氏子の皆さまから奉獻されたお初穂をお供えし、お祭りを行います。

**河内神社の祭礼日**〔平成23年下半年期〕

7月3日	午後2時	夏祭、夏越神事（大祓）
7月17日	午後2時	祇園祭（御神幸）
8月14日	午後7時半	献灯祭
10月8日	午後6時半	秋祭前夜祭（神樂奉納）
10月9日	午後2時	秋祭（例大祭）
11月15日前後		七五三祭
12月11日	午後2時	新嘗祭（大祭）
12月31日	午後7時	除夜祭（大祓）
毎朝		日供祭
毎月1日・15日		月次祭

日供祭、月次祭では、氏子の皆さまの日々のご安泰をお祈りします。午前7時半頃、境内の清掃がすんだ後、執り行いますのでご参拝下さい。

諸祈願祭受け付けます

初宮詣、安産祈願、歳祝、家内安全、合格祈願、厄祓い、交通安全、商売繁盛、七五三詣、地鎮祭、家祓いなど、電話でご予約ください。

河内神社事務所 082-928-2283

神宮大麻〔伊勢神宮の神札〕

伊勢神宮は、全国の神社の中心的存在で、国の総氏神社として信仰されています。

神宮大麻は、毎年多くのお祭りを経て、伊勢神宮で奉製され、氏神様から我々の家庭に頒布されます。



古来より各家庭では神宮大麻と地元の氏神様の神札を神棚に祀ってお祈りしてきました。家族の幸せを祈り、神様に守られる日々、感謝の気持ちを表すことで家族の絆が深まります。

神宮大麻と氏神様・河内神社の神札をお祀りしましょう。いずれも河内神社で授与しています。祀られていない方は、社務所までお申し出ください。

河内神社の動物たち③**絵馬の中の動物たち**

河内神社には多くの絵馬が懸けられています。

絵馬とは、祈願やお礼のため、神社や寺に奉納された額のことです。古くは生きた馬を奉納していました。それが絵に描いた馬（絵馬の語源）となり、そして今のような色々な内容の額に変化しました。

河内神社の拝殿の廻縁にある絵馬には、向かって右側はオウム？ 左側はウグイス？（色が薄くな

って不明：わかれれば教えてください）がいます。拝殿の中の絵馬には、刺繍の猫（明治期の奉納）、木彫の虎（下河内・迫田昭二氏奉納）がいます。お参りの際に確認してみてください。

**これからの河内神社のお祭り****祇園祭**

7月17日、河内神社にお祈りしている旧村社の日吉神社「下河内」の御祭神、素戔鳴尊を元のお社（権現さん）に一日だけお迎えをし、地区の人が元気に働き、生活する様子を見てもらい、今後も同じように見守ってくださいようお祭りをします。

前夜には、下河内集会所で神樂の奉納、当日は境内で地区の子供達による相撲大会が行われます。

献灯祭

お盆の14日の夜、神社の拝殿に提灯を吊し、皆さまの先祖の御霊を迎え、お祭りをします。

お祭りの後、小学校校庭で盆踊り大会が行われます。古くは、祭にあわせて河内地区の各家庭から、豆提灯を手に神社へ参拝し、提灯の明かりのもと、盆踊りが行われていました。

大事な例大祭（秋祭）

河内神社では、今年は10月9日、一年の収穫の感謝のお祭り、例大祭（秋祭）を執り行います。

このお祭りは、日本人の命の源、稲の収穫にあた

り、豊かな実りに氏子全員で心を込めて感謝し、今後の御加護を祈るお祭りです。
朝から子供や大人の俵御輿^{たわみこし}が出て、河内地区を挙げてのお祭りになります。

前夜祭(神楽奉納)

例大祭の前夜(今年は8日)、



地元・河内地区の神楽団による神楽の奉納が、境内特設ステージであります。今年は上河内神楽団が奉納し、日頃から練習を重ねてきた成果を披露します。また、伝統の古式花火が華やかに行われます。

河内地区には上河内神

楽団「十二神祇と花火」と、下河内神楽団「十二神祇と新舞」があり、毎年交互に神楽が奉納されます。

夜店の出店などもあり、たくさんの参拝者で賑わいます。

俵御輿奉納 例大祭の後、各地を練り歩いた俵御輿の奉納が、3時半頃からあります。境内狭しと担ぎまわる俵御輿は勇壮そのものです。

氏神様に七五三詣

もつて

11月15日は七五三のお祝いの日です。まずは氏神様にご報告して、お子様の幸福と健康を祈り、祝いまし



よう。子を思う気持ちは昔から変わりません。神社で記念の写真を撮ってあげましょう。

河内神社の七五三詣は、10月中旬～11月頃まで受け付けています。電話は(082)928-2283

一目でわかる神社の「つぼ」

— 建築④

【拝殿】

手水鉢を覆う建物。四

本しか柱がなく、足下に貫が通せないため、柱を内転びとしたり、添柱を立てて建物を安定させる。河内神社の手水舎の柱は内転びです。(欄宜 山田 岳晴)



河内神社合祀百年を迎えるにあたって

かつて河内地域には、旧村など各地区の氏神様をお祀りした神社が9社ありました。そのうち8社は、現在の河内神社に合祀(合わせてお祀りする)され、受け継がれてきた神社は今日に伝わっています。

氏子、関係者の努力により、明治40年から大正13年まで、17年間にかけて本殿の移築、拝殿、幣殿、手水舎



の新築、鳥居の新設と移設、境内地の拡張、狛犬、石灯籠、玉垣の設置など大規模な整備事業が行われ、現在の形になりました。

その後も、参道の拡張、駐車場の設置、忠魂社の拝殿の新築、拝殿の屋根の葺替えなどの事業がその都度行われてきました。しかしながら今回、一世紀

を経て、本殿の屋根、授与所、石垣、境内への車道、下水道接続など、経年による様々な不具合や課題が生じています。

合祀百年を迎えるにあたり、それらの整備を行い、我々が先祖より託された神社を子孫に引き継いでいきたいと思えます。これからの百年を見据えて、使いやすい、より良い神社に直し補い、氏神様をより身近に、より御神威を新たに、将来にわたり我々をお守りいただきたいと思えます。今の玉垣には百年前に尽力した我々の先祖の名前が刻まれています。新しい河内神社の歴史を我々の手で作り、良き伝統文化を子孫に伝えていきましょう。

裏面人形
(切抜き紙)

今年半期の厄祓いやくばらい

夏越なごし神事に家族でお参りしましょう。

7月3日(日)午後2時より、「茅輪神事ちのわしんじ」と「夏越大祓なごしのおおはらい」を河内神社境内にて執り行います。

「茅輪神事」ちのわしんじ

出雲神話にまつわるこの神事は、知らず知らず上半期に身につけた不幸や災いのもとになる罪・穢れを、茅の輪をくぐり、祓い清めて新しく下半期を迎えるための神事です。

「夏越大祓」なごしのおおはらい

一、健康と息災そくさいのため、一切の罪、穢れ、災いを「人形ひとがた」に移して、自分の身代わりとしてお焚き上げします。

一、男女別に、各自「人形ひとがた」に氏名・年齢を書いて切り抜き、体をなでて、息を吹きかけて河内神社にお持ち下さい。

なお、当日お参りできない方は、事前にお参り、お持ち下さい。

当日お参りされる方に、人形を託されても結構です。

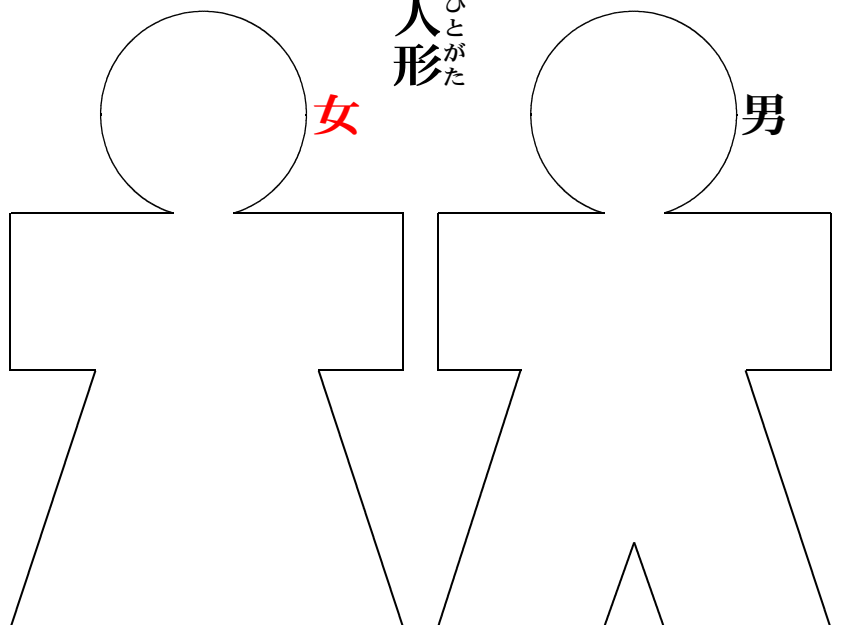
人形ひとがたは、当日まで社頭にも用意してあります。

切り抜いてご使用、ご持参下さい。また、不足する場合はコピーでも構いません。

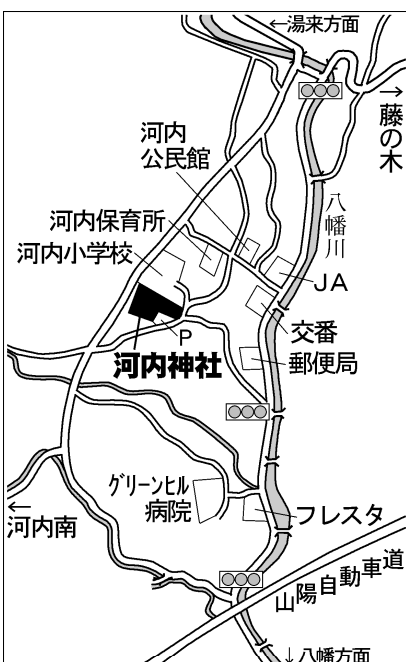
人形ひとがた

女

男



上河内・下河内・上小深川・下小深川 藤の木・河内南彩が丘
河内地区の総氏神 河内神社へは



河内神社ホームページ

河内神社

河内